

# 春号

第144号

## 財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827  
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23  
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- |          |           |            |          |           |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会  | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会  |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会  | 市川交通安全協会   | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会  | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- |                   |                  |                  |              |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会   | 山梨県タクシー協会        | 社団法人・山梨県バス協会 |
| 山梨県自動車販売店協会       | 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会    |
| 山梨県二輪車安全普及協会      | 山梨県自転車軽自動車商協同組合  | 社団法人・山梨県建設業協会    |              |



入学を前に、石和安協の役員らから横断歩道の渡り方の指導を受ける境川保育園の園児  
＝境川村小黒坂、境川小前の横断歩道

# 新入学児童・園児を事故から守る

## 4月1日から10日 県内一斉に運動

新入学児童・園児を交通事故から守る運動が四月一日から十日までの十日間、県内一斉に行われています。この運動は、慣れない通学(園)路を通い始める新入学児童・園児に交通安全の実践を習慣付けるとともに、新入学児童・園児を交通事故から守る県民の意識を高めることを目的に実施されています。

期間中、県・県警・県交通安全協会をはじめ関係機関団体が協力して、通学(園)路での正しい歩行・安全な道路横断についての実地指導など、地域に密着した街頭指導やPR活動を盛り上げます。

運動の推進事項は①新入学児童・園児に対する交通安全教育の推進②通学・通園路における安全の確保③新入学児童・園児を交通事故から守る県民意識の醸成の三点です。また、毎年四月に行われている春の全国交通安全運動は、今年は統一地方選挙が行われるため、五月十一日から二十日までの十日間となりました。県民の皆様のご協力をお願いします。

### 交通安全カレンダー

- 平成15年
- 4月1日～10日 新入学児童・園児を交通事故から守る運動
- 5月11日～20日 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全予供自転車山梨県大会
- 7月 二輪車安全運転山梨県大会
- 9月 夏の交通安全防止県民運動
- 10月 秋の全国交通安全運動
- 12月 山梨県中学生交通安全全県大会
- 平成16年
- 2月 年末の交通安全防止県民運動
- 交通安全推進県民大会

### 内容紹介

- 2面 県内交通安全功労者の表彰
- 3面 交通安全推進県民大会、交通安全中央大会
- 4、5面 地区安協の活動紹介
- 6面 死亡事故抑止へ4つの注意点
- 7面 県安協の平成15年度事業計画
- 8面 協賛団体の交通安全活動

### 交差点

昨年県内で発生した交通事故で負傷した人は一万人を超えています。単純推計で県民八・九人に一人が交通事故の負傷者ということになります。

このように交通事故の脅威が身近に迫っているとき、私たちが交通事故の被害に遭わないためには、単にルールやマナーを守ることにとどまらず、刻々と変化する交通の場面場面に応じた運転方法について理解していくことが必要です。そこで交通事故を起こさない運転方法、つまり頭脳的な運転の一端について考えてみたいと思います。

▼昨年県内で発生した交通事故の主原因は「前方不注意」「安全不確認」「動静不注意」の順に多く、この三原因で全事故の過半数に達しています。このことは多くの事故が運転者の「うっかり」「ぼんやり」「見込み違い」など、ほんの少しの注意力で防ぐことができることを意味しています。

▼このことを私たちの運転の場面に置きかえて具体的に検証してみますと、交差点に例をとれば「交差点の車が停止してくれぬだろう」「私の車の方が先に通過できるだろう」「人や車など来ないだろう」「歩行者が横断することはないだろう」とか、また追突事故に例をとれば「前の車が急に停止することはないだろう」といった「うっかり」運転がいかに多いことでしょうか。

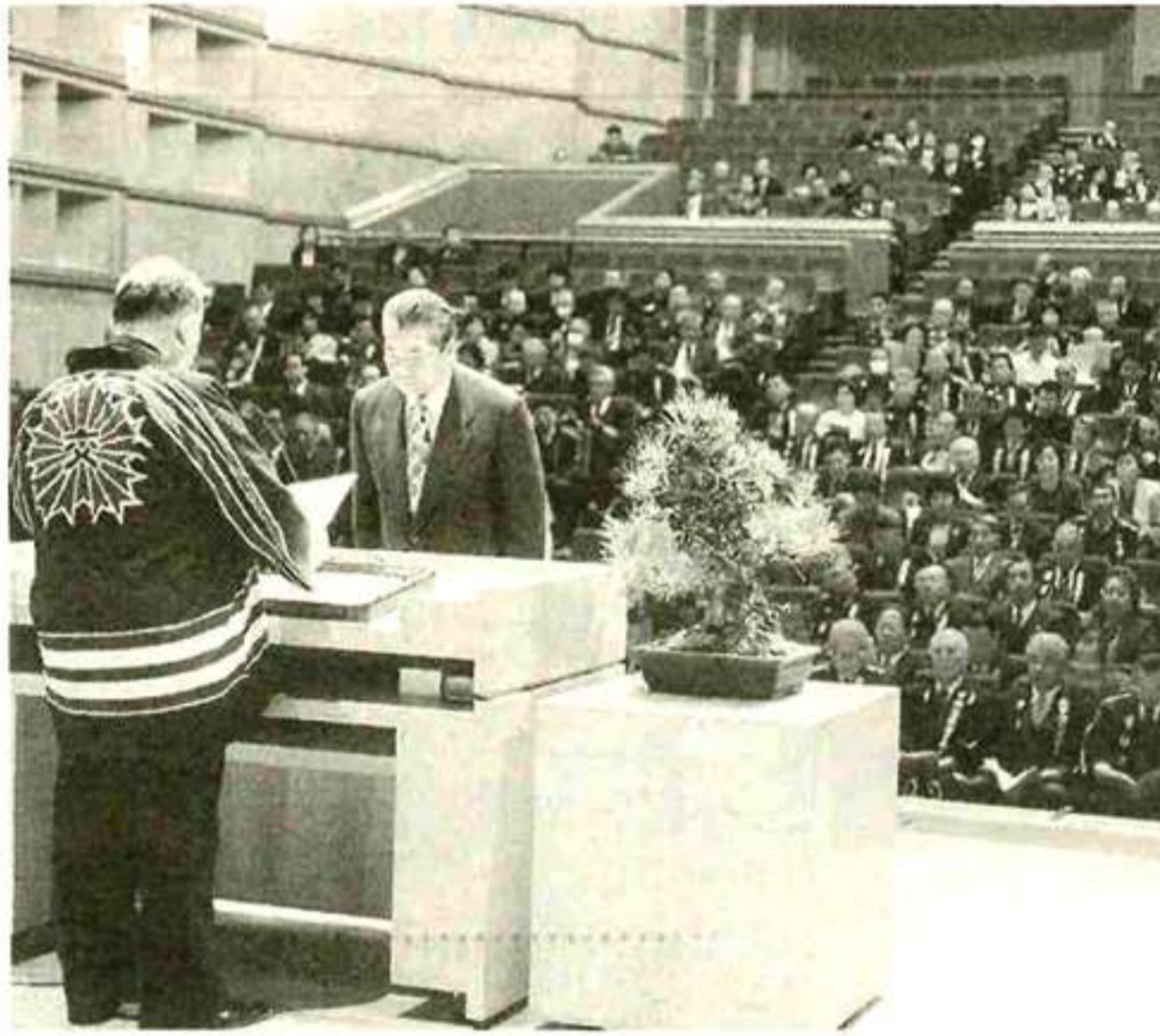
▼四六時中緊張感を保つことは難しいとしても、交差点やカーブを通行するときなどは、より慎重な運転を心がけたいものです。

平成14年度県内交通安全功労者を表彰

優秀安協に塩山、都留

優良賞は市川、富士吉田に

県警、県交通安全協会は二月二十一日、白根町(現南アルプス市)の白根桃源文化会館で平成十四年度交通安全功労者等表彰式を開催しました。交通安全関係機関・団体の役員など約五百五十人が出席。交通安全事故防止に長年功績のあった、交通安全功労者や交通安全団体、無事故・無違反で他の模範とされる優良運転者の人たちが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会会長連名表彰の二団体・一事業所・十五人と全日交



表彰を受ける交通安全功労者ら＝白根町(現南アルプス市)の白根桃源文化会館

表彰伝達

関東管区警察局長・関東交通安全協会会長連名表彰▽交通安全功労団体 名工建設株式会社 甲府支店、南部交通安全母の会連合会▽交通安全優良事業所 株式会社栄和交通▽優良運転者 井上清志、相川昌安、河西岩男、清水武則、田中貞夫、青木四郎、篠持久、佐野恒子、神宮司直好、水澤正、山田久子、斎藤忠雄、内藤久雄、竹川武、佐藤一秋▽全日本交通安全協会会長表彰(交通安全賞章「緑十字銅章」)▽交通安全功労者 都筑英二、三枝繁富、坂本定男、野澤久、渡邊勝子、小田切淳子、小林勇、中澤斐子、小林和子、田中茂広、依田初子、山本三喜雄、桜本仁也、今津辰三、

交通安全協会、都留交通安全協会▽優良賞 市川交通安全協会、富士吉田交通安全協会  
▽交通安全功労者及び団体▽交通安全功労者 笹井清、深澤元興、西原一郎、望月都雄、中込敏雄、遠藤君子、小俣和江▽交通安全功労団体 甲府交通安全協会北新支部、甲府交通安全協会敷島支部、山梨中央銀行南支店、玉諸地区子供クラブ指導者連絡協議会、幼児を守る父母の会、昭和産業株式会社、諏訪町建設安全協議会、南部交通安全協会栄支部、富里郵便局、県立山梨園芸高等学校、石和誠心幼稚園、財団法人山梨厚生病院、月江寺幼稚園、勝山村老人クラブ連合会、西原隆製  
▽交通安全功労役員 滝田武雄、権守武治、林長福、山本達雄、小林煥一、勝保英雄、高岸真、望月貞介、野村照子、桜井洋、三森利子、谷朝子、熊谷文男、依田務、中澤やす江、野沢政幸、望月真一、石原勝

己、金丸俊介、飯寄征男、岩間悟、住吉賢一、中込国夫、深沢武、清水正和、穴水正博、藤巻肇、深沢勝彦、雨宮良文、植松茂直、森寛次、進藤正憲、小沢真、中山一喜、高柳一元、井出哲夫、名取正樹、杉山昌也、原美紀子、望月幹雄、秋山勇、青山美夫、市川辰紀、望月忠芳、大野守男、田中省吾、乙黒敏、今福歳男、斉藤信、鷹野健、小平智和子、中嶋宗房、小倉茂、梶原伸雄、堀河博和、駒井貞夫、北野正晴、辻光岸本晴男、若月久吉、斉藤親、三森富明、新田理、畑野佐知子、竹川文子、大村治、宮沢宏、白井久雄、若井恭子、堀内あき子、岡本耕一、坂本丑昭、小俣守、渡邊勝雄、羽田善行、駒井守夫、渡辺安美、渡辺龍夫、渡辺光彦、坂本文徳、小俣光治、堀江なを子、高木静江、安藤俊一、田中英明、山下健児、曾根智子、水越栄一、小澤建雄、中村昌訓、村田利男、野本大八  
▽優良運転者 白木健治、佐久間勉、藤原透、三井一男、宮下利重、吉田重治、江原良次、小林廣茂、齋藤正勝、高田正光、宮川富一、鈴木満、長田欽也、望月茂芳、平岡正行、長田洋、小沢栄一、塩澤昭夫、橋田和幸、荻野今朝己、帯野渡、松本実、宮川喜光、日原優、岡行雄、津田初

今年三月の定期異動により、交通部長に命ぜられました「飯野」です。県内における昨年の交通事故による犠牲者は、前年より二十六人少ない七十一人であり、過去最高であった昭和四十四年の二百二十七人と比較して、三分の一以下に減少させることができました。これも、県や市町村をはじめ交通安全関係団体の皆様方のご尽力のたまものであり、そのご労苦に對しまして、心から感謝申し上げます。また敬意を表する次第であります。

一方、県内の状況に目を向けますと、事故の犠牲者は七十一人と前年に比べ大きく減少しましたが、残念なことには、発生件数は七千五百三十四件、負傷者数は一万百二十二人と史上最高を記録してしまいました。○事故死者のシートベルトの着用率が極めて低い ○悪質な飲酒運転事故が依然として発生している

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

県内の交通情勢について

飯野 昇二



安全のために あなた

# 安全で快適な交通社会の確立を目指す

## 三船和子さんが事故体験談

### 白根で交通安全推進県民大会



平成十五年交通安全推進県民大会(山梨県、県警察本部、県交通安全推進協議会、県交

通安全協会主催)が二月二十一日、白根町(現南アルプス市)の白根桃源文化会館で開催された。大会には、原野五郎知事代理、金山泰介県警察本部長、山下道男県交通安全

協会副会長、渡辺巨人県議会議長、吉良信一県公安委員長、数野強県教育長をはじめ関係者約七百人が参加しました。第一部では、主催者あいさつ、来賓の祝辞、飲酒運転絶滅作戦優良市町村の表彰の後、平成十四年全国交通安全ファミリー作文で最優秀賞を受賞した駿台甲府中の嶋田修一郎君を紹介し記念品を贈りました(受賞作は7面に掲載)。続いて、県PTA協議会の望月良美副会長が「安全で快適な交通社会を確立するため、六つの対策を協力に推進する」と大会宣言を行い、参加者全員が交通安全を誓いま

### 交通安全推進県民大会の交通安全宣言

悲惨な交通事故をなくすことは、県民共通の願いであります。

平成14年中は、県民あけて交通死亡事抑止対策を推進した結果、交通事故による県内の死者数は71人で、前年に比べ大幅に減少させることができました。

しかしながら、交通事故発生件数・負傷者数は今年に入ってから依然として増加しており、引き続き厳しい交通情勢にあります。

ここに、平成15年交通安全推進県民大会を開催するに当たり、生命の尊さと交通事故の重大性を深く認識し、安全で快適な交通社会にするため、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加する全ての人々と協力し、県内の地域・家庭・学校・職場において、次の対策を強力に推進することを誓います。

- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の推進
- 高齢者と子供の交通事故防止活動の推進
- 飲酒運転追放活動の推進
- 夕暮れ時の「早めのライト点灯運動」の推進
- 交通安全教育の推進
- 夜間における反射材着用の推進

以上宣言します。  
平成15年2月21日

平成15年交通安全推進県民大会

## 緑十字金賞に萩原、鶴田、石部さん

### 東京で交通安全中央大会

### 県内から9人5団体表彰

第四十三回交通安全全国民運動中央大会が、一月十六、十七日の二日間にわたり東京で開催されました。大会は、国民一人一人が交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれているものです。

一日目は、グラウンドアーク半蔵門で交通安全分科集会在

開かれ、基調講演のあと交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分かれ、それぞれの立場から意見発表や討論などを行いました。

二日目は、日比谷公会堂を会場に、常陸宮ご夫妻の臨席を仰ぎ、小泉純一郎首相をはじめ、衆参両院議長、警察庁長官のほか全国から多数の関係

者が出席する中で、交通安全章、優良団体などの表彰や交通安全年間スローガン・交通安全作文最優秀入選者の表彰が行われ、最後に大会宣言を採択しました。本県からは九

人、五団体が表彰を受けました。長年の交通安全活動などのご尽力に対し心から敬意を表します。

#### 県内から表彰された人たち



萩原 幸男氏



石部 元章氏



深沢 正樹氏



依田 倉蔵氏



嶋田 修一郎君



鶴田 美枝さん



山下 譲二氏



石原 滋氏



橋爪 進氏

相鉄ゴルフ株式会社甲府国際カントリークラブ、富士吉田市立下吉田東小、小笠原交通安全協会、葦崎安全運転管理者協議会  
◇交通安全ファミリー作文最優秀内閣官房長官賞  
○中学生の部 嶋田修一郎(駿台甲府中一年)

「交通安全県民のつどい」に参加した県民の多くが、三船さんの体験談を聞いて共感し、交通事故の後遺症がその後の人生に大きな影響を与えていることをあらためて確認した様子で、「つどい」は盛会のうちを終りました。

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

南アルプス市野牛島1828  
(免許センター内)  
TEL(055)285-0752

### 安協から

今年に入ってから山梨県内の交通事故による死者数は一カ月半余りで既に二十二人に上り、前年同期に比べ十五人増、率にして21.4・3%というハイペースで、死者の増減率、人口十万人あたりの死者数とも全国ワースト一位という不名誉な状態が続いており、全県をあげた死亡事故防止が急務となっています。

## 交通事故絶滅のため渾身の努力を

都留交通安全協会会長 石原 滋

わが都留交通安全協会の管内は、富士を間近に仰ぐ自然に恵まれた美しい地域であり、管轄市町村は都留市、西桂町、道志村、秋山村の一市一町二村となっています。管内の道路網は都留市を中心として放射線状に整備され、地域間の幹線道路としては、都留市から西桂町へは国道139号線、都留市から道志村へは国道101号線、都留市から秋山村へは、従来の活動に加え、当面、次の道413号線、都留市から秋山村へは、国道35号線が設置されています。が、県内外からこれらの道路を利用する車両は多く、いずれの道路も歩道の整備が充実していないため、子どもや高齢者の交通事故も年々増加し、渋滞緩和と並行しての事故防止が、

○子どものための交通安全教室の開催、街頭指導所開設などを実施しています。次に暴走運転防止対策としては、暴走族等追放のための情報収集や道路環境などの改善整備の実施

○初日の暴走族追放のため、監視活動及び広報活動の実施などを引き続き強力に展開しております。これからも、われわれ交通安全協会役員が一体となって、生活に一番身近な危険である交通事故をなくし、安全で快適な交通社会を実現するため渾(こん)身の努力を傾けてまいります。



などを引き続き強力に展開しております。

### 菅田天神社に交通安全祈願

○…塩山

塩山交通安全協会(橋爪進会長)は一月十三日、塩山市内の菅田天神社で、交通関係機関団体の役員六十人が参加して交通安全祈願祭を行いました。参加者は相互に連携して地域の交通事故防止活動



安全祈願をする塩山安協役員

### 死者が大幅減 貢献で感謝状

○…日下部

日下部交通安全協会(天野経廣会長)は二月二十八日、比五人減)のに伴い、抑止対策に大きく貢献した

山梨市市民会館で「交通死亡事故抑止対策推進会議」を開催しました。平成十四年中の管内の死亡事故が大幅に減少した(前年比五人減)のに伴い、抑止対策に大きく貢献した



事故抑止対策を確認した「推進会議」

日下部交通安全協会・日下部交通安全協議会・日下部交通安全母の会に対し、署長から感謝状が贈られました。その後、各団体から平成十五年度の活動計画などが発表され、意見交換が行われました。

### 新入学児童に安全通学指導

○…諏沢

諏沢交通安全協会(深沢豊)は四月に管内の六町村が合併して新しい市「南アルプス市」が誕生することから、樹形町の笠原神社で交通関係者百人が集まって、交通安全啓発を推進していくことを確認しました。今年には特に管内の交通機関・団体に協力を呼びかけ、街頭指導所を開設し、通行車両のドライバーと歩行者に対し交通安全啓発用品などを配布して交通安全を呼び掛ける予定です。

### 新入学児童に安全通学指導

○…諏沢

新一年生に自転車の乗り方を指導する御坂支部女性部員



### 「チャレンジ」高い達成率

○…石和

石和交通安全協会(杉田睦彦会長)は二月二十六日、昨年十月二十一日から今年二月五日までの百三十八日間行ってきた無事故無違反運動(SDチャレンジ138)の表彰式を開きました。百四十六チーム七百三十人が参加、達成者

は七百十八人(98・4%)、チームでは百三十八チーム(94・5%)が達成し、昨年比べ高い達成率となりました。また同安協御坂支部女性部などは三月二日、園芸高校大型機械研修農場で各地区育成会役員と小学校新一年生とその保護者二百四十人を対象に、自転車の安全な乗り方・歩行のマナーなどの講習会を開催しました。

# 「啓発の先頭に」決意も新た



高齢者から募った交通安全川柳の表彰式

このうち南部警察署長賞には南部町内船の四條萬亀さんの「運転に元気が邪魔のおとしより」、安協会長賞には身延町相又の遠藤喜英さんの「車間きよりこれも長生きするひけつ」が選ばれました。入賞作品は交通安全運動での配布物に印刷するなどして活用していきます。

### 死者ゼロ快挙 今年も誓う

○…市川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は一月十四日、下部町の浅間神社で「交通安全祈願祭」を行いました。管内の昨年の人身事故は九十一件、負傷者は百二十七人で、ともに前年より減少し死



死者ゼロを達成した昨年の再現を願った交通安全祈願祭

### 新市発足前に事故ゼロ祈願

○…小笠原

小笠原交通安全協会(名取和久会長)は、年頭にあたり、



南アルプス市発足を前に事故ゼロを祈願

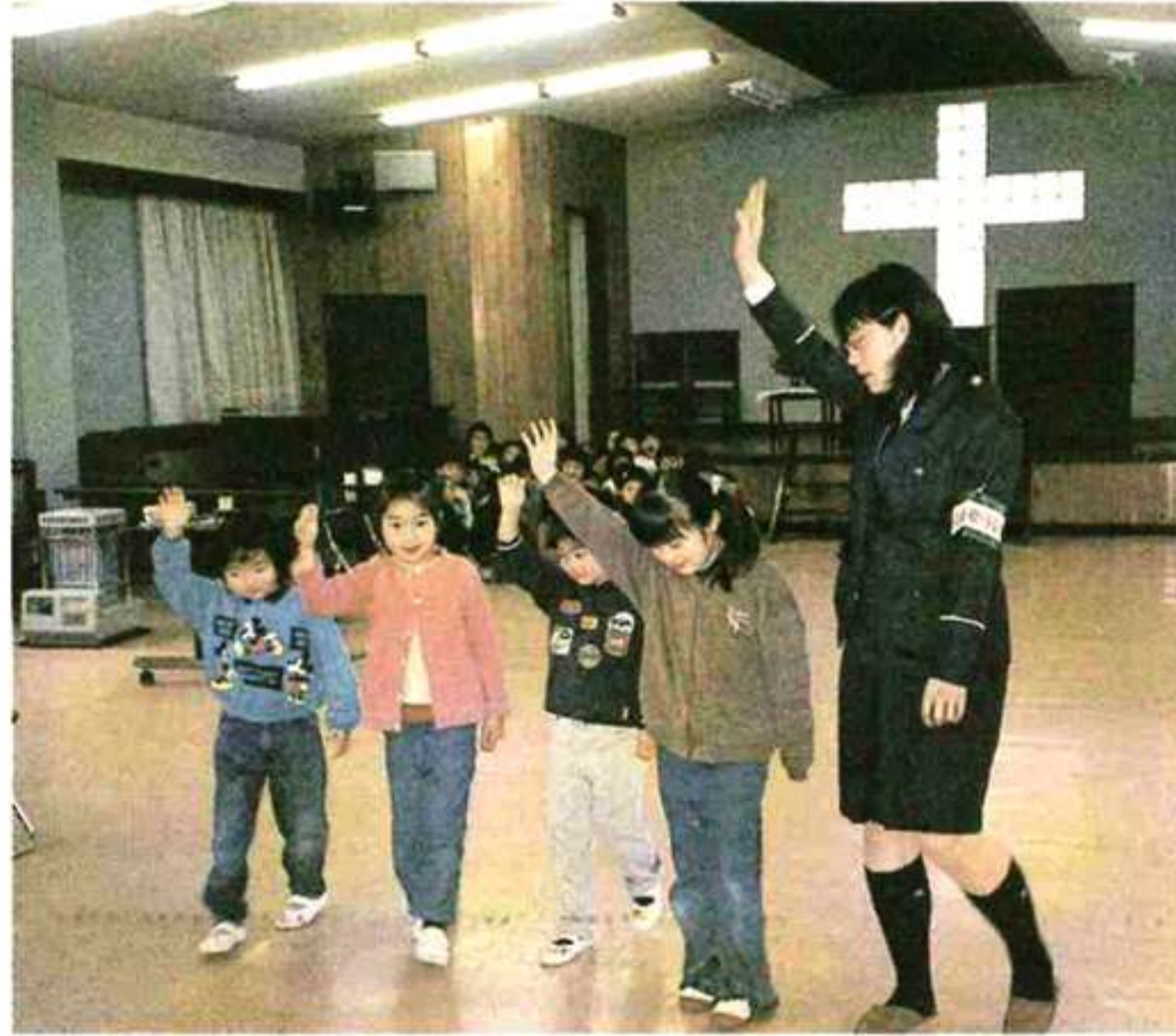
# 事故絶滅は地域から

## 15地区安協の活動紹介

### 園児を対象に 体験交通安全教室

○…大月

大月交通安全協会(山下道男会長)では、国道20号の大月警察署前に、「夕暮れ時は早めのライト点灯」の懸垂幕を設置しました。懸垂幕は反射機能を備え、夕暮れ時から夜間にかけてライトアップされ、ドライバーに対し事故防止を呼び掛けています。また、地域の高齢者を集め、反射材の使い方・効果などを説明して交通事故防止を呼び掛けるとともに、管内の保育園で道路の渡り方、信号交差点の通行などについて体験交通安全教室を開きました。



大月安協の体験交通安全教室で道路の渡り方を学ぶ保育園児



交通管制センターを見学する甲府・北新小の交通安全少年団員

### 交通安全少年団員が 管制施設見学

○…甲府

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)北新支部(大野良平支部長)は、二月二十六日、北新小の交通安全少年団員十五人を



通行車両に安全をPRする南甲府安協婦人部役員

### 通行車両に 安全をPR

○…南甲府

南甲府交通安全協会(山下譲二会長)の婦人部役員二十人は「年末の交通事故防止県民運動」に際し、県内でも交通量の多い国道358号新平和通りで、通行車両に対しチラシなどを配布して交通事故防止を呼び掛けました。

### 婦人部役員が 啓発品づくり

○…葦崎

葦崎交通安全協会(深沢正樹会長)婦人部は、交通安全運動などの街頭指導で配布する交通安全広報啓発用品を製作しました。



交通安全啓発用品を一つ一つ手作りする葦崎安協の婦人部役員

### 今年一年の 安全を祈願

○…富士吉田

富士吉田交通安全協会(湯山喜六会長)は、一月九日、河口湖町の三魂神社で交通安全祈願祭を行い、管内交通安全機関・団体の百四十八人が参加して今年一年の交通安全を祈願し、各団体の代表者が玉串を奉てんしました。その後、車両のお払いなどをし、関係者全員で協力し合っ、交通事故防止に努めていくことを確認しました。



交通安全祈願祭に参加した富士吉田安協役員ら

### 功労役員らに 表彰状を贈る

○…上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は、交通安全関係機関・団体と「上野原警察署管内交通安全関係団体表彰式」を開催しました。



表彰を受ける上野原安協の功労役員ら

### 新入学児向けに チラシを作成

○…都留

都留交通安全協会(石原滋会長)東桂支部(志村英治支部長)は、新入学児童を対象に交通事故防止の一環として「保護者のみなさんへ」「ぼくとわたしのおやくそく」の二種類のチラシを作成し、ランドセルへ携帯できる反射材付



新入学児童・園児を交通事故から守る運動が四月一日から実施されることもあり、子供たちに近き危険である交通事故を防止するには、家庭での交通安全教育が何より大切と考へての活動です。

### 事故抑止貢献 8団体を表彰

○…長坂

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、二月十四日、長坂警察署管内の交通安全関係団体



感謝状の贈呈を受ける長坂安協各支部の役員

### 高い無事故率

早く優しい地元のための教習  
富士吉田交通安全協会経営  
山梨県公安委員会指定

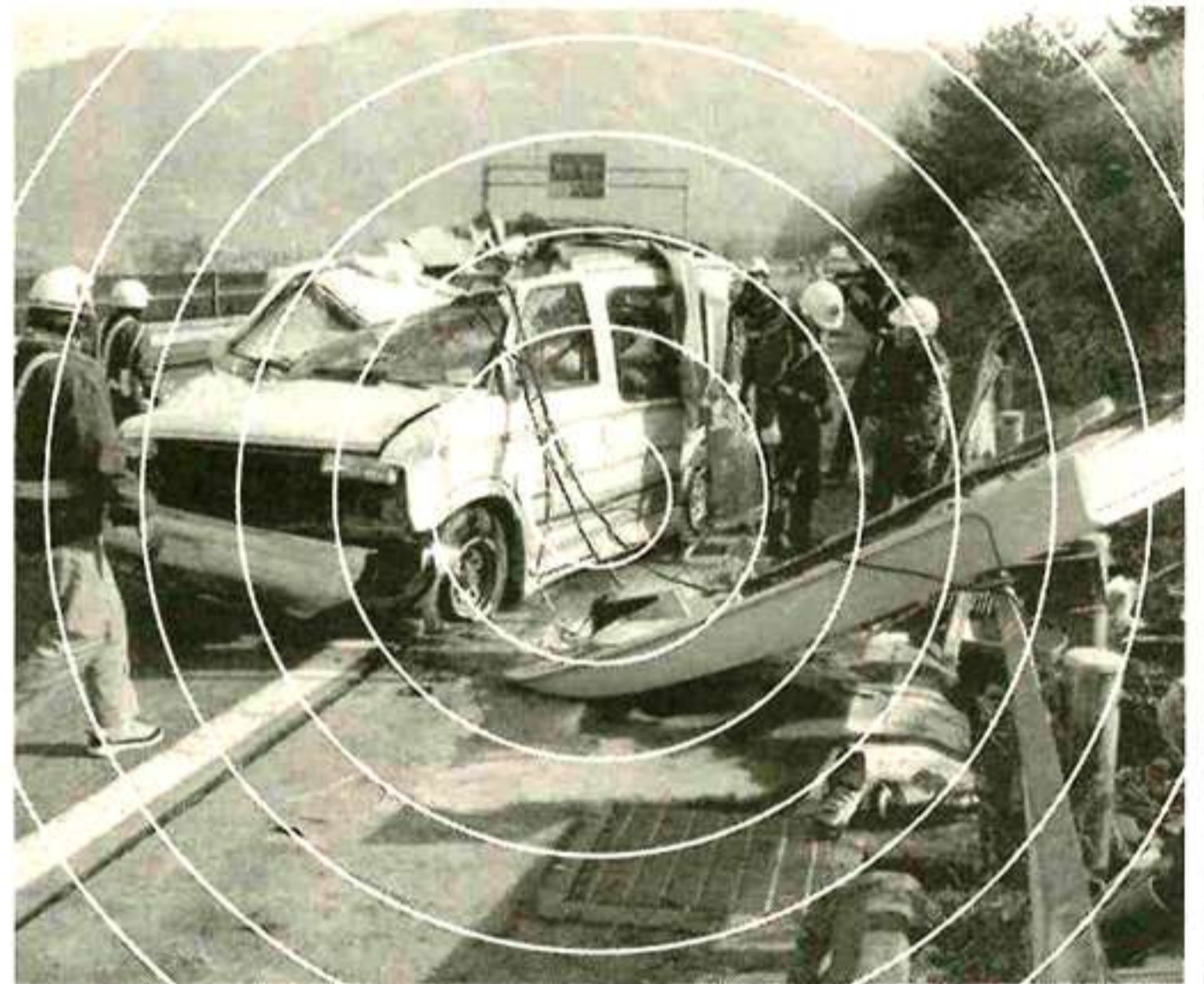
### 岳麓自動車 教習所

富士吉田市新西原5-5-1  
☎0555-22-1689  
普一・二、大型一・二、大特、けん引  
自二(合宿施設有)

◆安全運転へ4つのポイント◆

「速度」「居眠り」細心の注意を

出会い頭も注意、シートベルトは必ず



多発する交通死亡事故。ドライバーの心がけが事故防止のカギを握っている

県内の交通事故発生状況 3月20日現在の比較

|      | 発生件数   | 死者数    | 負傷者数   |
|------|--------|--------|--------|
| H14年 | 1,478件 | 16人    | 1,969人 |
| H15年 | 1,561件 | 27人    | 2,068人 |
| 増減数  | +83件   | +11人   | +99人   |
| 増減率  | +5.6%  | +68.8% | +5.0%  |

県内では、交通死亡事故が多発しています。三月二十日現在の交通事故による死者数は二十七人になり、昨年の同期の十六人と比べて、十一人(約七割)も増加しています。

死亡事故は、次のようなケースで多く発生しています。

- ◇センターラインを越えて対向車と衝突 五件発生七人死亡
- ◇ガードレールなどへの衝突や道路外への転落 五件発生五人死亡
- ◇歩行中の高齢者と自動車などが衝突 五件発生五人死亡
- ◇交差点での出会い頭の衝突 二件発生二人死亡

また、自動車乗車中に事故で亡くなった方のシートベルト着用率は42・9%と非常に低いのが特徴です。警察本部の調査では、シートベルト非着用で死亡した八人のうち、七人の方はシートベルトをしていれば助かったと認められています。

死亡事故に遭わないために、ドライバーの皆さんは、特に次の点に気をつけて、安全運転をお願いします。

- ◇スピードの出すぎは危険カーブの手前では十分にス

交通安全教室「出前」しています

県内の平成十四年中の交通事故死者数は、減少率全国ベスト3位でありましたが、交通事故発生件数は、七千五百三十四件、負傷者数は、一万百十二人を数え、史上最高を記録するなど、厳しい交通情勢となつています。

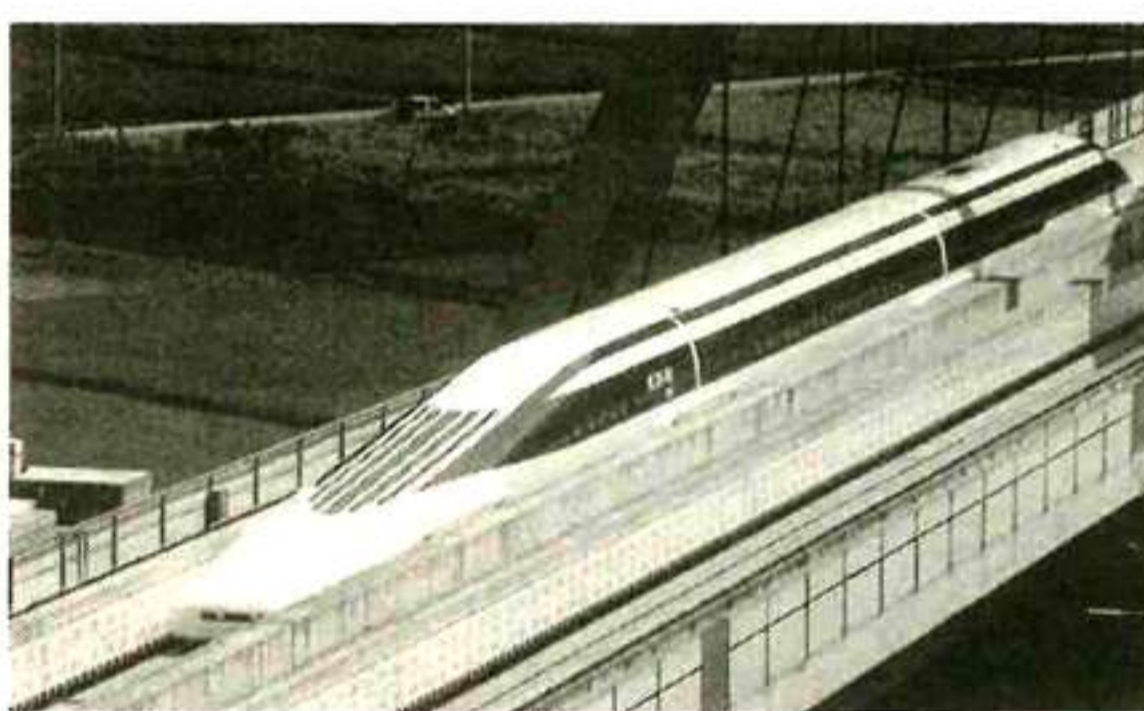
県警「さちかぜ号」が各地を巡回

気軽に申し込みを

このように交通事故は、県民生活の最も身近な危険であるため、交通安全意識を高めることが必要です。

また、子どもや高齢者が、交通安全意識をもって行動しなければ自分自身で安全を確保することはできませんので、多発する交通事故の死亡事故に歯止めをかけるため、本県では昭和五十四年十二月から警察本部交通安全課に交通安全教育車「さちかぜ号」を配置し、交通弱者の集う場所に出向き「よりよき交通社会人の育成」を重点に交通安全講話などを実施しております。

今年は1チーム5人で無事故・無違反に挑戦



抽選でリニア試乗が当たる

「チャレンジ200」は、「守ろう！交通ルール 高めよう！交通マナー みんなの約束！無事故・無違反」を合言葉に、一チーム五人で二日間は無事故・無違反に挑戦する参加型の交通安全運動です。

この運動に参加して無事故・無違反を達成したチームは、表彰やリニア試乗などの豪華賞品の当たる抽選会に参加できます。

家族、友人、地域、勤務先などでチームをつくり、セーフティドライブに挑戦して

やってみるじゃん!!「チャレンジ200」

スピードを落とすなど、安全な速度で余裕を持って運転しましょう。

◇居眠り運転は絶対にダメ 居眠り運転やわき見運転、運転中の携帯電話の使用などは重大事故につながります。運転中に集中し、長距離運転時には適度に休憩をとりましょう。

◇必ず、シートベルトを

運転席、助手席はもちろん、後部座席でもシートベルトを着用しましょう。

◇出会い頭の事故に注意 「止まれ」の標識のある場所では、いったん止まって、左右をよく確認しましょう。また、いつもの慣れた交差点でも、きちんと安全を確認しましょう。

◇必ず、シートベルトを

運転席、助手席はもちろん、後部座席でもシートベルトを着用しましょう。

◇募集部門 一般の部 シルバーの部 (六十五歳以上) チャレンジ期間 六月十五日～十二月三十一日の二日間

◇応募資格 運転免許証(国内免許)を持つ県内在住または県内在勤者(五人一組)

◇参加料 一人七百元 (一チーム三千五百円)

◇募集期間 四月七日(月)～五月三十一日(土)

◇申し込み方法 県の各地域振興局、市町村、警察署などの窓口においてある申込用紙に記入し、当実行委員会事務局または各地域振興局まで郵送か持参のうえお申し込み下さい。

◇問い合わせ先 セーフティドライブ・チャレンジ作戦実行委員会(山梨県交通安全課内) 電話055-223-1353 ファクス055-223-1326

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店  
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL055-228-0691

「さちかぜ号」による交通安全教育

# 実態に即した事故対策展開

## 県安協 平成15年度の活動重点

### 「反射材普及」など6項目

平成十四年中の県内における交通事故の発生状況は、死者数においてはシートベルト着用率が向上したことなどを背景として前年に比較し、二十六人と大幅に減少しました。一方、交通事故の発生件数と傷者数については、依然として増加傾向を示し、特に

傷者は一万人を上回り、統計史上最悪となるなど引き続き厳しい情勢となっております。また、交通事故の当事者をみると、依然として高齢者や若者を中心とした重大事故が多発しています。

こうした厳しい交通情勢に的確に対処するため、これまでにもまして交通事故の実態に即した効果的な各種交通安全対策を強力に展開していく必要があり、さらに、今後は人の命の尊厳と安全で安心、かつ、快適な車社会の実現を目指すための諸対策について新たな視点の下にさらなる努力を傾注していくことが求められています。

このため、県交通安全協会は、各地区交通安全協会をはじめ、県、県警察など関係機関や団体と一層緊密な連携の下に、平成十五年の活動重点を①シートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底②高齢者の交通事故防止活動、特に反射材の普及の徹底③飲酒運転追放活動の推進④若者による無謀運転及び暴走族の追放活動の推進⑤歩行者・自転車利用者の交通安全マナーアップ活動の推進⑥子どもの交通事故防止活動の徹底の六項目として、強力に推進していきます。

### 県安協の平成15年度事業計画

- 各種交通安全教育の推進
  - 交通安全教育指針に基づき、特にシートベルト・チャイルドシートの着用の徹底・高齢者及び若年ドライバーに対する交通安全教育の徹底を推進する。
- 各種交通安全運動などの実施
  - 全国交通安全運動、夏期及び年末の交通事故防止県民運動等年間を通じての高齢者及び子供の交通安全運動、二輪車事故及び飲酒運転防止運動、シートベルト及びヘルメットの正しい着用とチャイルドシート着用の普及促進運動、自転車のマナーアップ及び正しい点検整備や使用方法の普及のための運動を推進する。
- 交通安全推進県民大会の開催
- 各種表彰及び感謝状の贈呈などの実施
- 広報、啓発活動の推進
  - ポスター・チラシ・リーフレットなどの広報媒体に加え、既存の新聞、テレビ、ラジオのほか各地域にネットワークされているCATVやメールの活用など新たな広報媒体を活用した幅広い啓発活動を推進する。
- 地区交通安全協会の会員の対するメリット制度の運用への支援
- 各地区交通安全協会組織の拡充と事業活動などへの支援
  - 支援
    - 各地区交通安全協会傘下の支部及び婦人部などの効果的な交通安全活動に対し、その経費の一部を助成するなどの支援を行い、交通安全協会活動の活性化と併せて協会活動への県民の理解を深めるための諸対策を強化する。
    - 自転車安全対策の推進
      - 自転車安全整備の効果的運用とTSMマークの普及促進、子供と高齢者に対する自転車の正しい乗り方等指導、中・高校生に対する自転車マナーアップ活動の推進
      - 二輪車安全対策の推進
        - 高校生を対象とする二輪車講習の実施と高校教師に対する二輪車講習と指導員審査の実施
      - 交通安全全県大会の開催
      - 交通安全協会婦人部の活動強化及び青年部の育成と推進
      - 交通安全協会制度の充実
        - 強化
          - 婦人部の組織充実・強化を図るとともに研修会などを開催し、活動への参加意識の高揚を図る。青年層の協会への参加意識の高揚と組織化を図るための助成措置を講ずる。大学・高校生などを中心とした交通ボランティア制度を拡充するため各種の支援を行う。
        - ブロック別研修会の開催
        - 身体に障害を持つ運転者及び歩行者などに対する交通安全対策などへの支援
          - 視覚障害者用交通信号機付加装置の寄付採納
          - 交通安全対策に向けた調査研究等の実施
          - 反射材等の普及及び着用の促進
            - 高齢者を対象にした貼付活動の強化
          - 交通安全活動従事者傷害保険事業及び交通災害見舞金制度などの運用
        - 交通安全活動に対する支援
          - 交通安全協会の在り方についての調査研究
          - インターネットによる当法人のディスクロージャーについて
            - 業務運営について一層の透明化、適正化を図るため、財務諸表など新たに必要資料を加えたディスクロージャー(情報公開)を実施する。

# 嶋田君(駿台甲府)が全国最優秀

## 交通安全ファミリー作文 2度目の栄冠



全国交通安全ファミリー作文で中学の部の最優秀賞に選ばれ、交通安全推進大会の席上、記念品を受ける嶋田修一郎君

交通安全ファミリー作文コンクールは、毎年、交通事故を防止するため、歩行者、自

転車利用者、バイク利用者、ドライバーなど、それぞれの立場にある皆さんが、身近な交通安全の問題について考え、話し合った内容や、交通安全につながる日常の会話や独自の工夫など実践例についての作文を募集しています。

平成十四年度はテーマを「我が家の交通安全」に定め、平成十四年七月から九月まで小学校低学年、中学年、高学年の部、中学生の部、父親、母親、一般の部、高齢者の部で募集され、中学生の部で駿台甲府中一年の嶋田修一郎君が、応募総数一万千六百三十三点の中から見事最優秀に輝きました。

### 嶋田修一郎君の受賞作の全文

#### ぼくの家の交通安全 —自転車通学のマナー—

「カチン」しっかりとヘルメットを固定。「ヘルメット、よし」「ライト、よし」「ブレーキ、よし」

次に、頭の中に通学路の地図を浮かべる。「通学路危険場所」を再確認するためだ。これが自転車通学前に行う、ぼくの自己点検だ。

四月、中学に入学。新しい生活が始まった。学校まで十キロ。片道五十分の道のり。一日二便しか走らないバス通学は無理だった。自転車以外に、ぼくの通学手段はなかった。

三月、小学校卒業式翌日のこと。突然、日曜日仕事でほとんど家にいないお父さんが、「明日、自転車で一緒に学校に行こう。」と、「大丈夫だよ。学校の場所はわかっているから」「いいや。どうしても一緒にいきたい。」

「面倒だな。」と思ったが、この日のために、職場の人から自転車を借りてきたお父さんを、断ることはできなかった。さらに、お父さんは二分の一の地図まで準備していた。

「最も危ない。」と指摘されていた場所の一つ。約束通り、自転車を降り、押して交差点に向かう。後ろに、自転車のおじいさんがいた。

「あーっ。」突然、ブロック塀の先から車が左折してきた。キキー。車はおじいさんの直前で停まった。しかし、自転車はそのまま倒れた。「おじいさん、大丈夫か？」僕はおじいさんに駆け寄った。すると車から女の人が降りてきた。自分で立ち上がるおじいさん。「良かった！」ケガしてないことを確認。ぼくはうれしかった。

「自転車に乗るには、マナーを守るよ。これがぼくの家の約束ごとだ。駐輪方法、安全な乗り方、ヘルメットはもちろん、部活後、暗くなくても点灯する。みんなに、お前、また明るいたろうか。」と言われた。「ライトは相手に自分の位置を知らせる目的だよ。」すると、みんなもまね始めた。交通安全は最優先だ。交通事故は、日本だけで昨年の一年間に八、七四七人が死亡し、百十八万人が負傷している大問題。死者のうち自転車走行中の事故は九百九十二人に達し、特に、夜間走行中の事故が増加している。自転車通学開始後六ヶ月、お父さんがなぜ、ぼくに、自転車のルールを確認させ、通学路を学習させたのか、今、良くわかる。ぼくは、これからも「交通安全」をまず自分なりに広めていきたい。

# 山梨県建設業協会

## 安全な道路づくりと環境整備の役割担う



道路の植栽作業をする県建設業協会の会員



『道路に関する世論調査』(平成13年1月実施)の調査結果から

起るため、安全対策の検討は非常に難しいと言われているが、国土交通省で実施した「道路に関する世論調査」の結果では、道路に対する国民の要望はグラフの通り、高速道路の充実よりも身近な安全と生活道路の整備を求め、少子・高齢化、環境問題、IT革命などの社会的課題とともに道路の果たすべき役割も変化している状況を示しています。これからは幹線道路は別として、歩行区間の確保、高齢者に配慮した移動環境の整備とそれによって生ずる自動車交通の迂回の処理、連続性の確保が求められ、それに

黄色い帽子をかぶった新小學校一年生が上級生と登校する姿を見ると、本当に心算しなくてはなりません。無事に成人してやがて一人前の大人となつて活動するまで、どうか安全で無事でありませうようにと祈らずにはいられません。

建設業協会の会員は、新しく道路を造ったり、これまでに交通の障害となつていた箇所

や事故が多発している交差点の改良工事などを、道路管理者である自治体と交通管理者、警察署の指示に従つて行うことを使命としています。

中央自動車道や中部横断道など高速道路の開通により国道などの交通事情が一変し、経済活動が活発化し交通量が增大しているにもかかわらず、交通渋滞・事故が減少している現状をもっともっとPRしなければと思つております。県道・市町村道もたいぶ良くなつてきましたが、まだまだ危険箇所がいろいろあります。交通事故は、人・車・道路の三要因が複雑に絡み合つて

進むため、安全対策の検討は非常に難しいと言われているが、国土交通省で実施した「道路に関する世論調査」の結果では、道路に対する国民の要望はグラフの通り、高速道路の充実よりも身近な安全と生活道路の整備を求め、少子・高齢化、環境問題、IT革命などの社会的課題とともに道路の果たすべき役割も変化している状況を示しています。これからは幹線道路は別として、歩行区間の確保、高齢者に配慮した移動環境の整備とそれによって生ずる自動車交通の迂回の処理、連続性の確保が求められ、それに

次に、建設業協会が取り組んでいる「交通安全のための活動」を紹介いたします。

①各地区交通安全協会と連携した街頭活動・広報活動の実施  
交通安全運動期間中の街頭指導のほか、自主的活動としてゴミ持ち帰りクリーンキャンペーンに合わせ安全運転の呼びかけなどを行っています。

②道をきれいにする運動  
への参加  
協会各支部では毎年、「道路をまもる月間」の活動として、道路周辺の清掃、空き缶・空き瓶の片づけ、除草、街路樹の枝落とし、草花の植栽などを行い、快適な道路環境づくりに協力しています。

③大雪や災害時の道路交通の確保  
山梨県では、毎年このように大雨や台風による斜面の崩壊事故が発生しています。そのような時、道路管理者の指示を受けてまず駆けつけ、積もった雪や崩落土砂を片づけるのは建設業協会の会員です。危険を伴いますが、地域の足を確保する使命を果たすべく精いっぱい頑張っています。

④工事現場の安全確保  
交通安全を確保しながら道路工事を行う時は、交通の支障や交通事故を起こさないように、万全の処置を講じています。工事中、付近を通過するときはご協力をお願いします。

簡単に建設業協会の取り組みを紹介しましたが、尊い人命を守るにはすべての人の協力が得られなければ成果は挙げられません。安全な道路づくりを求める活動への参加とともに道路工事への協力を切にお願いする次第です。

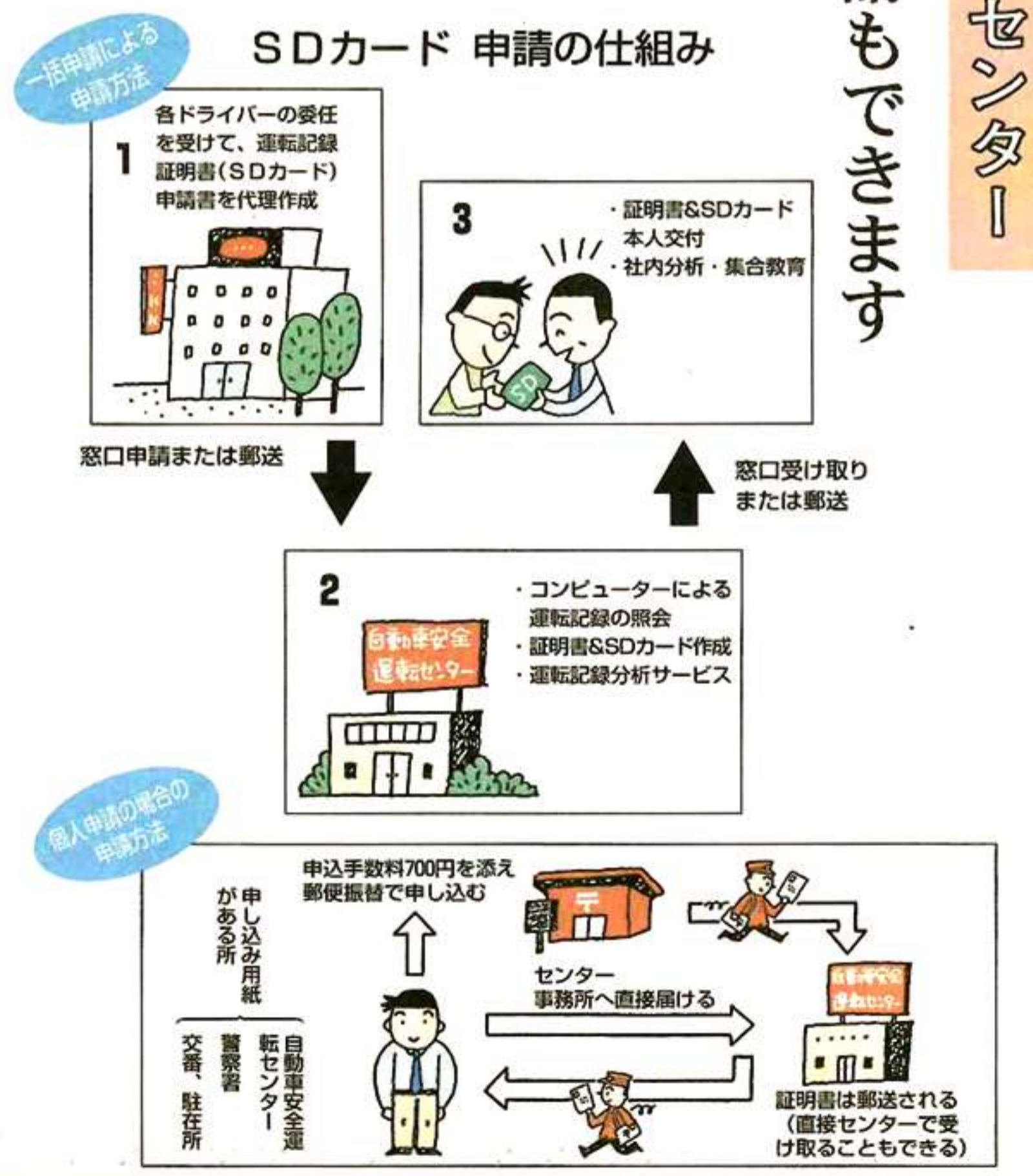
### 自動車安全運転センター

#### SDカード代理申請もできます

SDカードシステムの導入を検討している企業などの安全運転管理の担当者のために、申請から活用までの流れを図に示しておきましょう。

○証明書(SDカード)の交付申請は個人で申し込むのが原則ですが、企業や事業所などでは各ドライバーから委任を受けて一括して代理申請を行う方法があります。この場合、本人から委任を受けたことを明らかにする書面が必要です。

○手続きが面倒では? と思ひ悩む前に、自動車安全運転センター山梨事務所(南アルプス市野牛島一八二八、電話055・285・2345)に相談してください、お待ちしています。



### AMS(山梨県自動車整備振興会)

カーエアコンに使われている特定フロンガスの適正回収、破壊システムが法制化され、平成十四年十月一日からフロン回収・破壊法が施行されたのに伴い、整備事業者はその資格をなす引取り・回収事業者としての役割を積極的に果たしています。

年間約四百万台(中古車輪も含めれば約五百万台)排出されていることに伴って、使用自動車から生じるシュレッターダストを低減する必要がありますが高まっています。また、最終処理費の高騰と鉄スクラップ価格の低迷によって使用済み自動車の逆有償化(処理費を払って引き渡す状況)が進んでいることで、近年、従来のリサイクルシステムは機能不全に陥りつつあり、不法投棄・不適正処理が増える懸念も生じています。

このため自動車製造業者を中心とした関係者に適切な役割分担を義務づけることにより、使用済み自動車のリサイクルが促進されています。

一方、平成七年七月から愛車の点検・整備の制度が大きく変わり、「自分の車は自分で守る」という車の保守管理の責任はユーザーにあるという意識が明確になりました。毎日使用する車ですから、日常点検の実施を心掛けねばなりません。また、季節の変わり目にも車の状態をチェックする必要があります。AMSの全会員工場では、ユーザーの皆様が梅雨時及び冬前の季節点検キャンペーンを平成十五年年度から展開する予定となっておりますので、お気軽に身近な整備工場へ入庫頂きますようお願いいたします。

(社)山梨県自動車整備振興会 ホームページ <http://www.ams.or.jp>

#### 使用済みリサイクルに積極貢献



AMSマーク

必要が高まっています。また、最終処理費の高騰と鉄スクラップ価格の低迷によって使用済み自動車の逆有償化(処理費を払って引き渡す状況)が進んでいることで、近年、従来のリサイクルシステムは機能不全に陥りつつあり、不法投棄・不適正処理が増える懸念も生じています。

このため自動車製造業者を中心とした関係者に適切な役割分担を義務づけることにより、使用済み自動車のリサイクルが促進されています。

一方、平成七年七月から愛車の点検・整備の制度が大きく変わり、「自分の車は自分で守る」という車の保守管理の責任はユーザーにあるという意識が明確になりました。毎日使用する車ですから、日常点検の実施を心掛けねばなりません。また、季節の変わり目にも車の状態をチェックする必要があります。AMSの全会員工場では、ユーザーの皆様が梅雨時及び冬前の季節点検キャンペーンを平成十五年年度から展開する予定となっておりますので、お気軽に身近な整備工場へ入庫頂きますようお願いいたします。

(社)山梨県自動車整備振興会 ホームページ <http://www.ams.or.jp>